

令和6年度 学校経営方針

令和6年4月1日
四万十市立中筋小学校長

1 基本方針

日本国憲法、教育基本法の理念を基本とし、高知県及び四万十市の教育行政方針の示すところに従うとともに、児童・地域・学校の実態を踏まえて、特色ある学校づくり及び社会に開かれた教育課程の創造に取り組み、地・徳・体の調和のとれた豊かな人間性と持続可能な社会の形成者としての実践力を身につけた児童の育成に努める。

2 学校経営理念

「子ども First で考える」・・・子どもが自ら考え、判断し、行動できる力を育むための労力を惜しまず、教職員が一丸となって子どもたちの「学び」と「育ち」を保障し、社会（家庭・地域）から信頼される学校経営に努める。

「かいのある学校づくり」・・・「学びがよい」「働きがよい」「通わせがよい」「協力のしがよい」のある学校を目指すことで、よりよい社会を創造する。

3 学校教育目標

自ら考え、行動する中筋の子

- ㊦・・・なかよく
- ㊧・・・かしこく
- ㊨・・・すじを通して（根拠を求める）
- ㊩・・・じぶんから

「ICTを有効に活用する中筋の子」

※4つの「K」：共有・協働・活用・個別最適

「地域を大切にする中筋の子」

4 学校経営方針

- (1) 基礎的・基本的な知識・技能の定着を図り、思考力・表現力・実践力の育成に努める。
- (2) 自己肯定感を高め、他者に共感し、多様性を認め合える人間関係を構築する。
- (3) 命・人権を大切にするとともに、いじめや不登校の未然防止に関する指導を中心とした人権教育を推進する。
- (4) ユニバーサルデザインの授業づくりやこの特性に応じた指導を大切にした特別支援教育・インクルーシブ教育を推進する。
- (5) 基本的な生活習慣の確立と基礎体力の向上に努める。

- (6) チーム学校を構築し、授業力向上をはじめとする教育の質の向上に努める。全教職員で育てる。
- (7) 保小・小中連携による12年間を見通した一貫性・系統性のある教育を推進する。
- (8) 地域の特色や教育力を活かし、地域と協働し、地域に根ざした教育を推進する。
- (9) 防災を中心とした安全教育・安全管理を推進する。
- (10) 業務の効率化・削減を図るなど、学校における働き方改革を推進する。

5 めざす学校像

- (1) 笑顔のある学校・・・元気にあいさつし、自分を表現する。
- (2) 協働する学校・・・互いの違いや多様性を認め合い、助け合える。
- (3) 地域とともにある学校・・・PTAや放課後子ども教室、地域等と協働し、教育活動の改善に取り組む。
- (4) 美しい学校・・・積極的に清掃活動に取り組み、学校環境が整えられている。

6 めざす児童像

- (1) 人を大切にする子・・・自己決定、他者肯定、想像、共感、多様性
- (2) 自分の考えを表現する子・・・意思決定、論理的・批判的思考、対話、協働
- (3) チャレンジする子・・・意欲、問題発見・解決、やり抜く力

7 めざす教師像

- (1) 職務を常に見直し絶えず自己研鑽に努める教職員
- (2) ウェルビーイングを追究する教職員
- (3) 同僚・保護者・地域住民から信頼される教職員

8 指導の重点

- (1) 基礎的・基本的な学力を定着させ、学びに向かう力を高める。【学力を鍛える】

- ①学級経営を土台にした学習規律の徹底と学習習慣の確立
- ②知識・技能の確実な習得とそれを活用・発揮しての活用力・探究力の育成
- ③自分で考える力、表現する力の育成
- ④中筋スタンダードの再確認（全クラスが完全複式を意識！）

○学習リーダーを活用した複式学級・単式学級の授業方法の研究

○子どもが学びとる授業づくり

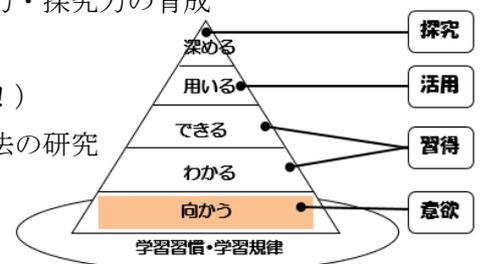
（導入・めあて・対話・振り返り・活用10分）の研究

※ICTの効果的活用

※「強い目的意識があれば、人は自ら知識や技能を身に付ける」

○ノート指導の充実（学びの見えるノート作り）

※ICT活用によるノート指導の研究



- 単元テスト改革（活用力向上：特別対策⇒日常の対策）
- ⑤ICT を効果的に活用した授業づくり、校務の充実
 - 国語科の授業づくりの研究（校外の授業づくりへの参加）
 - ICT 研修の実施（情報教育担当による計画的な実施：校内研でのミニ研修）
 - 個別最適な学びの実践
 - 授業研究の実施（共有し広げる）
- ⑥プログラミング教育の充実
 - 年間指導計画の充実
 - ICT を活用したプログラミング教育の実施
- ⑦総合的な学習の時間（「ふるさと愛教育」の充実）
 - 年間 70 時間の確実な実施
 - 問題解決的な学習（PBL の試み）を
 - ※各学年のテーマを基に探究する課題を設定し、解決する（提案する）。
 - 四万十の子ども学習発表会
- ⑧帯タイム（チャレンジ）の充実
 - 論理的思考力、活用力を高める指導（国語活用プリント、算数活用力問題集）
 - タイピング練習
- ⑨家庭学習習慣の確立
 - 自主学習の手引きの活用の見直しと活用
 - 予習的自主学習の実施（3 年生以上、1 単元 1 回以上）
 - ぐるぐるノート（自主学習）の実施
 - ・横：1～2 週間に 1 回 ・縦：月に 1 回
 - ICT の効果的活用（PC 持ち帰り学習）＝ICT を活用した個別最適な学び
（ドリル学習：スマイルネクスト）

（2）人権尊重の精神と豊かな心の育成【心を鍛える】

- ①自己肯定感の醸成と共感力を高め多様性を認める力の育成
 - 「自分にはよいところがある」向上に焦点を合わせた取り組み。
 - 個々の良さや特性が認められ、生かされる集団づくり。
 - 構成的グループエンカウンター、ソーシャルスキルトレーニングの工夫・充実
 - 縦割り班活動を活用した関わりづくり。
- ②いじめ、不登校への対応と生徒指導の充実
 - 未然防止、早期発見・早期対応に重点
- ③命・人権を大切にするとともにあらゆる人権課題解決に向けた人権教育の充実
- ④「考え、議論する道徳」の実践
- ⑤校内支援委員会及び関係機関と連携した特別支援教育の充実
- ⑥インクルーシブ教育の充実

○講師：高知大学 是永かな子 教授

⑦ 3つの約束：「元気なあいさつ」「あいてを見て聴く」「朝読書の徹底」

(3) 基本的な生活習慣の確立と基礎体力の向上【体を鍛える】

①生活習慣の確立に向け、点検活動・相談活動等を活用した教育・啓発活動の実施

- 「早寝・早起き・朝ごはん」運動の展開（毎日の生活がんばり調べの実施・評価）
- メディアに負けない（自分をコントロールできる）子どもを育てる実践
- 家庭への啓発と課題のある子ども・家庭への対応

②年間を通した体力づくり運動の実践（持久力・柔軟性）

- 朝マラソンによる基礎体力づくり
- 遊びを通しての体力づくり（全校レク：週1回）
- 全学級で取り組む共通の運動

③体育の授業

- 小学校の発達段階の動きの獲得を目指し、1単位時間30分の活動量をしっかりと確保できる授業づくりに努める。（教材・場の工夫）
- 運動会・陸上記録会の競技・スポーツテストに関連した運動を計画的に実施する。

(4) 家庭・地域と連携・協働した教育活動の展開

- ①「よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創る」ことの共有
- ②コミュニティ・スクールのスタートと会議内容の充実
- ③学校評価の結果を活かした教育活動の展開
- ④地域の人材を活かした教育活動の充実

(5) 保小中連携の強化

- ①中村西中学校区 小中交流研修会による組織体制の充実
 - 部会・公開授業等による系統的な教育の整備・充実
- ②保小を見通した保育・教育の強化

(6) 学校支援地域本部事業（高知県版 地域学校協働本部）の充実

- ①学校運営協議会スタート（コミュニティ・スクール スタート）
- ②各組織との連携
 - 「中筋子どもと共に育つ会」「子ども見守り隊」
- ③会の内容充実と組織の見直し
- ④コーディネーターとの連携
- ⑤人材バンクの整備・充実
- ⑥tetoru の効果的活用